

Gard Alert

コンゴ民主共和国でのエボラ出血熱の流行に関する報告 (2018年6月29日 更新情報)



こちらは、英文記事「[Ebola outbreak reported in the DRC](#)」(2018年5月16日付)の和訳の内容を更新するものです。

コンゴ民主共和国 (DRC) で発生したエボラウイルスにより、これまでに 29 名の死者が出ています。世界保健機関 (WHO) は依然として公衆衛生上の危険度を全国レベルで「非常に高い (very high)」、地域レベルで「高い (high)」と評価しています。

2018年5月8日、コンゴ民主共和国 (DRC) の保健局 (MOH) は、同国北西部の赤道州でエボラウイルス病 (EVD) が発生したと発表しました。今回が、この40年間で9回目の発生です (前回2017年5月の発生については [2017年5月19日付のアラート](#) で取り上げています)。

世界保健機関 (WHO) によると、2018年6月28日までに報告された件数は次のとおりです。

- 29名の死者を含め、合計55件のエボラウイルス病の感染者が報告されています。
- そのほとんどは Iboko 保健圏と Bikoro 保健圏のものですが、Waganta 保健圏でも感染者が報告されています。
- 全報告件数のうち、エボラウイルス病であると確認されたのが38件、その可能性が高いとされているのが14件、その疑いがあるのが3件です。

WHO は、エボラ熱の拡散を防止・制御するため、コンゴ民主共和国政府のほか、主要関係国とも緊密に連携しています。しかしながら、Mbandaka でエボラウイルス病が確認され、Mbandaka は国内外への主要な河川、道路並びに国内線空港を持つ大都市であるため、コンゴ民主共和国国内および隣接諸国への感染拡大リスクが高まりました。そのため WHO は公衆衛生上の危険度の評価を維持し、6月26日付で全国レベルにおいて非常に高い (very high)、地方レベルにおいて高い (High) と評価しています。世界レベルにおいては現状では低い (Low) とされています。

推奨事項

WHO は依然として、コンゴ民主共和国政府への渡航や貿易の制限を適用する必要はないと勧告しています。ただし、各国の港湾保健当局の中には、予防措置として、病気の症状を示している乗組員を特定するため、厳重な警戒態勢を取っているところもあります。例えば、南アフリカの健康保健局は [2018年5月10日付](#) で注意喚起を発しています。

西アフリカや中央アフリカ、特にコンゴ民主共和国の港に向けて航行する場合には、次の寄港地への到着前に十分な余裕をもって WHO やその他の関連当局のホームページを閲覧して状況をよく把握し、現地代理店からも関連アドバイスを得ることを推奨します。

関連情報のソースには以下のものがあります。

- WHO: [Ebola Virus Disease overview \(エボラウイルス病の概要\)](#)
- CDC: [エボラ \(エボラウイルス病\)](#)
- WHO: [Travel and transport risk assessment: Interim guidance for public health authorities and the transport sector \(渡航と輸送に関するリスク評価: 公共の保健機関と運送 業界向けの暫定ガイド\)](#) 2014年9月発行 (第4.2.4章に、船舶と輸送会社向けのガイダンスを記載)
- Gard Insight: [寄港先でエボラ等の感染症がもたらすリスクに対処するための用船契約条項](#) 2014年9月発行
- Gard の [Advisory for Members and seafarers to prevent contracting the Ebola disease \(メンバーと船員向けのエボラ病感染防止に関する勧告\)](#) 2014年～2016年の西アフリカでのエボラ出血熱流行時に発行

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。